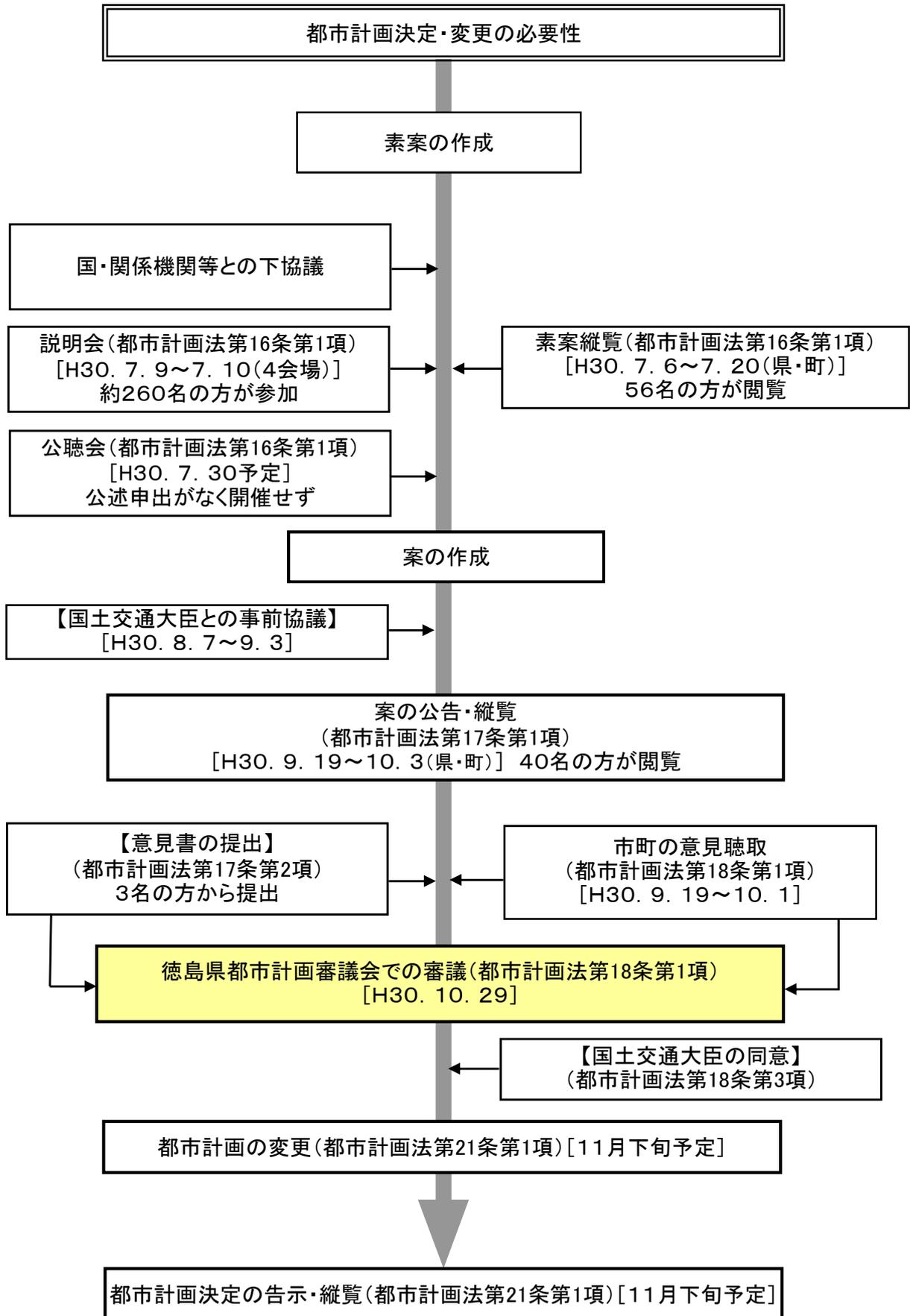


- | | |
|--|-----|
| ○ 都市計画変更フロー図 | P 1 |
| ○ 都市計画変更における手続きの概要
(説明会、素案の縦覧、公聴会、案の縦覧) | P 2 |
| ○ 都市計画変更(素案)説明会の質疑応答概要 | P 3 |
| ○ 都市計画変更(案)に対する意見書の概要 | P 5 |

都市計画変更フロー図 (牟岐海陽線)



牟岐都市計画道路 牟岐海陽線の追加に関する手続きの概要

1. 素案の説明会の概要

開催日時	場 所	参加者	備考
7月 9日(月) 15:00~16:05	海陽町 役場 3階大会議室	約100名	質疑応答の概要については次頁参照
7月 9日(月) 19:00~20:06	牟岐町 海の総合文化センター	約50名	
7月10日(火) 15:00~16:03	海陽町 浅川漁村センター	約40名	
7月10日(火) 19:00~19:53	海陽町 宍喰町民センター	約70名	
合 計	4会場	約260名	

2. 素案の縦覧の概要

縦覧期間	縦覧場所	閲覧者
平成30年 7月6日(金)~7月20日(金) <14日間>	徳島県都市計画課	3名
	徳島県高規格道路課	7名
	牟岐町建設課	8名
	海陽町建設課	38名
	合 計	56名

3. 公聴会の概要

平成30年7月30日(月) 14:00~ 牟岐町海の総合文化センターにおいて開催を予定していたが、7月25日(水)までに公述申出がなかったため中止。

4. 案の縦覧の概要

縦覧期間	縦覧場所	閲覧者
平成30年 9月19日(水)~10月3日(水) <14日間>	徳島県都市計画課	0名
	徳島県高規格道路課	0名
	牟岐町建設課	4名
	海陽町建設課	36名
	合 計	40名

5. 意見書の提出

3名の方から提出あり。

都市計画変更（素案）説明会の質疑応答概要

第1回（海陽町 役場3階大会議室） 平成30年7月9日（月）15：00～16：05 出席者数 約100名	
1	問：道路の幅は12mとのことであるが高さはどれくらいか。想定外の津波も考えられるので、最大限の高さを設定してほしい。 答：GLより12mから20mを予定。予想される津波高さは全て回避する高さとしている。
2	問：いつ頃できるのか。 答：都市計画決定後、平成31年度に事業化したいと県は考えている。
3	問：盛土で、日陰になることがあるがどう考えているのか。 答：全くないとはいえない。盛土勾配は緩くしているが、詳細設計の段階で、補償が必要であれば検討したい。

第2回（牟岐町 海の総合文化センター） 平成30年7月9日（月）19：00～20：06 出席者数 約50名	
1	問：どのようにすれば早期実現につながるのか。 答：皆さんの強い意志、働きが実り、今回の都市計画素案につながった。来年度、新規事業化出来ればと思っているのでよろしくお願いいたします。
2	問：順調にいけばいつ頃完成するのか。 答：一概には言えないが、都決後、新規事業化することになる。
3	問：牟岐バイパスと内妻ICの接続は具体的にどのような形状になるのか。 答：美波・牟岐間は、住民の皆様の意見を踏まえ計画段階評価で考える。
4	問：避難路、避難階段を設置できるのか。 答：町と県、事業者と協議し、皆さんが納得する形に出来ればと思っている。

第 3 回（海陽町 浅川漁村センター） 平成 3 0 年 7 月 1 0 日（火） 1 5 : 0 0 ~ 1 6 : 0 3 出席者数 約 4 0 名	
1	<p>問：都市計画決定の区域が買収区域になるのか。</p> <p>答：今回決定する赤色の線の内側で建築制限がかかることとなる。今回は、おおよその買収のライン。今後、事業化された段階で詳細な設計を実施。</p>
2	<p>問：いつ完成するのか。南海トラフ地震の発生確率は今後 3 0 年間で 7 0 ~ 8 0 %。</p> <p>答：完成時期はこの場でお示しできないが、県政の最重要課題と認識しており 1 日も早い供用に向け邁進したいのでご理解ご協力をお願いします。</p>
3	<p>問：浅川 I C は災害時の利用を考えれば伊勢田川の南側に設置すべき。昭和南海地震では伊勢田川に架かる橋は落ちた。まぜのおかを整備した経緯を考えてほしい。</p> <p>答：通常の利用性を考慮すれば現案がベスト。まぜのおかについては、発災時の活動拠点ともなるため、県としても、（伊田川南側にも）緊急の出入り口が必要ではないかと考えている。事業化後に考えて参りたい。</p> <p>問：浅川 I C の位置はそのままということか。まぜのおかへの通行が確実に可能となるのか、もう一度確認したい。</p> <p>答：まぜのおかの重要性は認識している。確実にというのとは言えないが、非常用出入り口については強い意志を持っていきたい。日和佐道路でも緊急出入口を設置している。</p>

第 4 回（海陽町 穴喰町民センター） 平成 3 0 年 7 月 1 0 日（火） 1 9 : 0 0 ~ 1 9 : 5 3 出席者数 約 7 0 名	
1	<p>問：交番のところに家がある。家があるのでイヤと言えれば変更してもらえるのか。</p> <p>答：最適ルートと考えられる計画を示させていただいている。今後、事業化された後に測量や詳細設計を行うのでご理解ご協力を。</p>
2	<p>問：工事の着工、竣工時期はいつ頃か。</p> <p>答：まだ事業化されていない状態。時期は不明であるが、県としては来年度新規事業化に向けて取り組む。事業化された後、用地のご協力いただきたい。</p>

意見書の要旨

- ・変更案の縦覧期間：平成30年9月19日（水）～10月3日（水）
- ・意見書の提出者数：3名

意見書	意見書の要旨
1	<ul style="list-style-type: none">・海部IC周辺の地形及び地質について 圃場整備後、稲作をしているが、現在も地盤沈下が続く軟弱地盤。さらに、山に囲まれ谷水が集まる地形となっているので、大雨が降れば周辺道路が浸かる土地であり水害が懸念される。 盛土による二次災害が考えられるので現状把握及び分析を行い、地盤の補強や下流河川の改修を含めて計画を練っていただきたい。・海部ICへの出入口について 193号との接続部は緩やかなカーブと坂道の地形であるため、スピードを出して追い越しする車両が多い。また、自転車通学の学生達も多く、日常的に危険な場所であるため、道路完成後に交通量が増加すれば重大な事故の発生が懸念される。そのため、出入口付近の視距を改善するなど安全な道路にして欲しい。
2	<ul style="list-style-type: none">・ビニールハウスが計画道路にかかり移転が必要となる。息子や孫も営農意欲があり、近くに別の土地もあるが、道路盛土により日陰になるためそこに移転は難しい。代替地を検討するか、可能であればルートを変更してほしい。
3	<ul style="list-style-type: none">・自分の土地が道路用地にかかっているのは特段問題とはしないが、穴喰古墳のぎりぎりのところに背の高い道路を通すのはいかがなものか。・家というのは、何代にも渡って先祖を奉ってきているので宅地は避けるべき。